

吹田市勤労者福祉共済運営委員会 (会議録)

1 日時

平成 29 年 7 月 7 日 (金) 午前 10 時～

2 場所

吹田市役所 中層棟 4 階 第 4 委員会室

3 出席者

安部委員・安藤委員・井上委員・植田委員・岸原委員・土橋委員・
松下委員・平井委員・松尾委員・矢野委員・山口委員・熱田委員

欠席者

なし

事務局

中嶋部長・中川室長・奥山総括参事・光岡参事・
大音主幹・坂本係員・菊池係員

4 公開・非公開の別

公開

5 傍聴者

0 名

6 議題

- (1) 委嘱状交付
- (2) 役員改選
- (3) 平成 28 年度事業及び決算報告について
- (4) その他

【 平成28年度事業について事務局より説明 】

会 長： ただいまの説明についてご質問、ご意見をいただきます。何かありませんか。

会 長： 私の方からよろしいですか。
先ほど冒頭のほうで、積立金のほうに繰り越しをするという話がありました。これは、その単年度の年度で赤字になったときこの部分が増減するという形でよいということですか。

事務局： そうですね。

会 長： 前まではここはいじらないという感じでしたけれども、この部分で増減ができるようになったということですか。

事務局： 勤労者福祉共済の基金については、その年度ごとの会計で出し入れが自由にできるものではございません。ただ共済事業について、足らなくなった場合はこちらの基金のお金を活用させていただいております。例年でしたら、単年度の方も含めて、すべて翌年度に繰り越させていただいたのですが、それは共済基金条例で違うのではないかと、という話がございます。一旦年度として全部ここに収めていこうという形をとらせていただいております。
余った金額、もしくは単年度内訳での金額も、すべて翌年度に使わせていただいていたのですが、そうではなくて、一旦すべて基金に戻させていただきます。ただ、毎年予算を作る関係で、もし足りなくなった場合に基金から自由に入出りはできないものなので、事前に一旦こちらの方に繰入金として入れさせていただきます。それでも余った分については、翌年にはなりますけれども、しっかり基金のほうに積み立てるという作業を、二段階でさせていただくことになっております。つまり、そもそも繰越金というイメージではなくて、積立金の中から足りない分を出して、余ったら返すという作業をしていきます。

会 長： ということは、増減ができるということですね。
前の仕組みでは、積立金のところを触ることができなさそ
うな感じだったんですよ。まあいえば、固定的な部分とい
うか、普通の企業でいう資本金勘定に入ったような形で、
承認がないと動かせないというようなご説明があった気が
するんです。
その辺が気になったものですから。

事務局： 基金自体は、給付金の支払ということになっておりますの
で、福利事業等には使うことができませんが、その辺のこ
ともきっちり精査させていただきまして、単年度単年度で
会計を示させていただいているという状況です。けれども、
どうしても出し入れする時期は決まっておりますので、一
旦は繰り越ししますけれども、改めてまた基金に積み立て
る、という作業をさせていただきます。

会 長： 積立金の最低金額というか、最低保持していなければいけ
ない金額は決まっているんですか？

事務局： 皆様が、例えば、何らかの状況で全ての方が退会されてし
まった場合にもこの基金を使用させていただくというこ
とで積み立てているので、およそですけれども 5 千万程度必
要になってくると思っております。

会 長： はい、ありがとうございました。
他に何かございませんでしょうか。

副会長： 一ついいですか。今回の発表とは関係ないのですが、
今回から委員会のメンバーが変わりましたが、いつももら
っている名簿リストはないのでしょうか。

事務局： 申し訳ございません。今、コピーとらせてきます。

会 長： 他に何かございませんでしょうか。
福利事業のことでちょっと皆さんに言っていたきたい。

副会長： 交渉していただきたいのが、万博の観覧車の無料券です。

委員： 前回もお話したのですけれども、吹田市の勤労者会館の地下にあるプール、これは難しいのでしょうか。

事務局： 今後どちらも話を進めさせていただきたいと思います。

委員： ありがとうございます。よろしく願いいたします。

委員： 人間ドックの検診の補助は出るのですが、吹田の市民病院にある脳ドックには補助が出ないんですね。同じドックなのにどうしてなのでしょう。

事務局： 通常ですけれども、人間ドックの中に、一般的に診ていただく部分というのがあって、脳ドックというのはおそらくオプション的な扱いであるかと思いますので、今のところは対象にはしてないです。けれども、今後そういったことができるかどうか、検討させていただきたいと思います。

会長： これ脳ドックだけで受ける方だと、そういう違いが出てきますよね。

委員： そうなんです。だから人間ドックではなくて、脳ドックというものも別にありますので。

会長： 今の位置づけでは、人間ドックの中に脳ドックがあるという位置づけであるけれども、脳ドックだけ受ける人にはなにも補助はないのか、ということですね。

事務局： そのあたり今ここではっきり言うことはできませんけれども。

委員： いや、ちょっと不思議だな、と思ひまして。

会長： 他に何か。

委員： 当社の、東京や九州の社員も一律お金払わせていただいております。生活習慣病の補助が、大阪の本社勤務のものしかいただけない、ということについて、会に入っているものであれば、健保協会に携わっているところで受診したものに対しては、補助をいただけるという仕組みがとれるのかどうか、という点。
今は大阪だけですが、東京のものが同じ東京の健保協会であっても受けられるのか、というところ。
温度差があるので、それを緩和する手立てはあるのかどうか、ということいかがでしょうか。

会長： 事務局いかがですか。

事務局： 現在は指定しているところというのが対象になっておりますので、全国取扱いできるのか、というのはこちらの方で一旦調べさせていただきまして、もし今後できるのであれば、そういったところも広げていきたいと思っております。

会長： 社員みなさん、東京であっても、どこであっても、人数かける700円ということになっているのですね。
つまり東京におられる方も、大阪に来て受けなければ、それは享受できないという仕組みになっているのですね。

事務局： はい。

会長： 他に何か、ございませんでしょうか。

私からいいですか。

この福利事業の中で、公演・鑑賞という9ページの5～17のところ、今年になってかなり減っているように思います。この中には、もしかしたら応募が少なくてやめることになったものもあるかと思いますが、応募が多くてもやめることになったものというのは、何か事情があってやめているのでしょうか。

事務局： いろんな事業がございますので、公演内容をこちらから調

べさせていただきます。主催者の方からのご連絡の中で、共済事業として実施させていただける事業をこちらで選ばせていただいております。

一つ、メシアターのほうが今年度改修工事でお休みさせていただいている関係で、通常の場合こちらで開催する事業が開催できないといったことで若干減っているというところはございます。

あとはその時その時の年度でいろいろなことをやっているの、それは随時主催者の方からご連絡いただきましたら行っていきます。今ここに書ききれないものもありますが、話を進めているところだけを色をつけて書かせていただいております。後半に向けても、いろいろな事業を紹介していただきますので、その中で実施していくとか、今後もちろん追加していこうとは思っております。

委員： 福利事業の件ですけれども、甲子園の野球観戦というところの応募が多いので、今2席ですけれども、4席に増やすことは可能でしょうか。

事務局： 甲子園の座席につきましては、今2席ご用意させていただいているのですが、トータル的な事業を見たときに、特定の被共済者様が複数日、複数試合を申し込まれるケースがすごく多いんです。私どもとしましては、全体的な事業として、いろんな方々に使っていただきたいという願いもありますので、今まだ2席に抑えさせていただいております。

会長： よろしいですか。

他に何か、ございませんか。

副会長： 福利事業の応募方法なのですけれども、私が応募するときにはいつもメールでしているのですが、詳しくは知らなくて申し訳ないのですが、メール以外の方法で応募する方法は何でしたか。

事務局： メールかFAXか、往復はがき。

副会長： 往復はがき？

事務局： 当選した場合と落選した場合とがあります。落選した方に対してこちらから通知は送らせていただいているのですが、必ず当落の通知がほしいという方でしたら、往復はがきで応募していただくと、落選した場合もご連絡いたしますので、そういった方は往復はがきで応募していただいております。

委員： 個人的な意見で以前にも出したのですが、フタバボール関大前の無料券。いろいろ昔はありましたが、この頃それがなくなりました。
フタバボールの方にも言ってるのですが、また役所の方からも言っただけなら社長も考えてくださるかと思うのでお願いします。

事務局： 同じ吹田市内のところですので、私どももできたらと思っ
てはいます。以前もありましたしね。

委員： 以前にいただいていた分は、フタバボールの会員になって
いたらまったく関係ないんですよ。共済に入っているメリ
ットがなかったんです。共済の組合員のメリット、ってい
うものを考えてもらえたらな、と思います。また役所の方
から声かけていただけたらありがたいです。
以前は、だいぶ長い間1ゲーム無料券とか、いろいろチケ
ットが来ていましたが、今は一切なくなってしまったので、
ちょっとまたお声掛けいただけたらな、と思います。

事務局： はい。わかりました。その辺も考えさせていただきます。

委員： ちょっと素朴な質問なんですけど、よろしいでしょうか。
当選か落選されるか、その選ばれるときに、いろんな方法
で、メール、FAX、往復はがきと、いろんな形の応募が
ありますが、実際どういう形で選ばれてるのでしょうか。

やはり選ばれすぎの人がいたらバランスをとられているのか、というところを少し教えてください。

事務局： 基本的にはですね、皆様からいただいた応募の内容を全部一旦データ化させていただきまして、同じ方が何通もないかなど、認証チェックをかけさせていただいて、そのあとでランダム抽選を行っております。

例えば、先月もその前もあたっている方がいらっしゃっても、一回一回の抽選になるので、もしかしたら何回も連続して選ばれる方とか、当選されないというケースもあります。しかし、一回一回は公平ということで、抽選をさせていただいております。

委員： じゃあもう完全に運という。なる方はなられてなれない方はなれない。

事務局： そうですね。

会長： 他に何か、ございませんか。

私からの要望ですけれども、
こういう実績がございましてね、応募枚数、募集枚数の状況を見て、多いものはちょっと増やしていただける努力をしていただけたらな、と思います。やっぱり全然当たらない人も出てくると思いますし。応募の少ないものはまあいいですけど、応募の多いものは増やしてもらえる努力をしてもらいたいなと思いますね。

事務局： 私最初に、この共済に入っていてよかったな、と思ってもらえるように、というご議論を、と言いました。その中でいろいろなご意見が出て、こういう風に使えるものが大阪なら使えるけど東京では使われへん、こういうことで申し込みたいねんけどなかなか当たらない、とか、こういうのをやって欲しい、とか、そういうことをやっぱり一つずつぶして、できるようにしていって、みなさんにまたこれからも入っていただく、と。

掛金で運営されているものですから、たくさんの方にお支えをいただいている。そのような認識は、今会長おっしゃったように我々としてもその思いがございませう。

今日いただいたご意見で、役所の都合だけではなかなかうまくいかないものもございませう。相手さんのご都合もありますので。ここはしっかりと働きかけをして、コミュニケーションをとったうえで、これはいけます、と、今年度からいけるか来年度からいけるかは別として、やれることはやる。これは言うてみたけれども、相手がこういう理屈で無理だ、ということはしっかりと分けて。またもう一回この場が今年度ございませうので、それまでに整理をさせていただいて、ご理解いただけるようにご報告させていただきたい、という風に思っております。

さまざまなご意見いただいたことはしっかりと受け止めて、事務局内で検討させていただくつもりでございませう。

会 長： それと、一つ要望なのですが、資料というものは、みなさんには当日わたっているのですか。事前にいつているのですか。

事務局： 事前に。

事務局： 基本やはり会議の、ふつう目指すのは一週間前。事務局で練ったものを会長のご了解をいただいたうえで皆様に、と考えております。一週間前というのはかなわない時期もありますけれど、当然ここで初見というのは不適當だと思っておりますから、なるべく早い時期にわかりやすい資料をお届けしたいと、これからもそういう風にやっていきたいと思っております。

会 長： わかりました。

他になにか、ございませうか。
ないようでしたら、次に進めたいと思ひませう。

最後にその他ということで、事務局何かございますか。

事務局： 今回、お越しいただきまして、活発に議論していただきました。また次回 11 月ごろに見込んでいるのですが、その時には今日いただきました意見も含めさせていただきます、何らかの形になりますように、そちらの方も準備させていただきたいと思っております。

会 長： ありがとうございます。
最終的にご意見何かある方？
ないようでしたら、これをもちまして議事を終結し、以降は事務局へお返ししたいと思います。

事務局： 本日はお暑い中、運営委員会へ足をお運びいただき、また、皆様方の積極的なご意見をいただきありがとうございます。
事務局といたしましては、本日いただいたご意見を今後の運営に活かしていきたいと考えております。
先ほども申しましたが、次回は、11 月頃の開催を見込んでおります。改めてお知らせさせていただきますので、よろしく願いいたします。
それでは本日の会議を閉会いたします。誠にありがとうございました。